創刊号

聖天山周辺地区 景観まちづくり ニュース

平成 25 年 10 月

心地よく住み続けられる環境づくりを目指して

聖天山周辺地区の景観まちづくり計画を検討しています

門前町として、古くから聖天さまとともに歴史を歩んできた聖天山周辺の地域は、平成 19 年の市民アンケートでも、「好き・残したい景観」の上位に挙げられています。しかし、近年では、人口の緩やかな減少や歴史的な建造物の喪失が進むなど、景観や環境に変化が生じています。

そのため、本地区にふさわしいまち並みの保存・再生や安全で快適な歩行空間の形成、心地よく住み続けられる環境づくり等を目指して、景観まちづくり計画を検討しています。



地区内にある様々な資源を活かした、景観まちづくりを進めていきたいと考えています。



凡 例
- 歴史的な資源
- 公共施設
- 公園・緑地
- 並木
- 主要な道路
- 水路・水辺
- 江戸期に由来する道
- 聖天山周辺地区の範囲

地区のみなさまと検討を進めていきます

地区のみなさまのご意見を伺いながら、本地区の景観まちづくり計画を策定するため、今後もワークショップの開催等をしていく予定です。

景観まちづくりワークショップの検討の流れ（予定）

平成 25 年 9 月～11 月		12 月～平成 26 年 3 月		
・景観まちづくりの必要性 ・地区の課題・魅力の掘り起し	・地区の課題や魅力のまとめ	・地域の将来像の検討 ・景観まちづくりの方向性の検討	・景観まちづくり計画案の検討	・景観まちづくり計画の策定

第 1 回ワークショップを 9 月 29 日に開催いたしました！
当日の様子は裏面をご覧ください。

（裏面につづく）

第１回ワークショップを開催いたしました！



９月 29 日(日)18 時より、妻沼勤労福祉会館２階多目的ホールにて開催し、自治会長さんをはじめ地区にお住まいの方や、オブザーバーなど２３名の方にご参加いただきました。

テーマ

- **地区のまち並みの現況を再確認し、景観まちづくりの必要性を共有する**
- **参加者同士の意見交換等を通じて、地区の魅力や課題を掘り起こす**

検討の様子と主な内容

外の目でみた地区の魅力や課題の報告

景観まちづくり計画の検討にあたり、コンサルタントから、現地調査で感じた地区の魅力・課題を報告しました。

地区の魅力について

○水に囲まれたみどり豊かなまち
○まちのイメージをつくる歴史の薫り
○メリハリのきいた道すじの構成
○新たな魅力を感じるお店
○随所に魅せられるアート・手づくり感
○まちに活気をもたらすイベント

課題もいろいろありそう

○かわりゆくまちの様子
　→緑の量の減少、空き家・空き地の増加、土地利用の変化
○観光客増加の影響
○転出や転入の動きとまちの今後
○今ある魅力をつなげて、まちの大きな魅力にしていけないか？

参加者同士で地区の魅力や課題について意見交換

３班に分かれ、普段の生活の中で感じている地区の魅力や課題を出し合いながら、意見交換を行いました。





意見交換の様子

各班の意見交換の内容を発表

意見交換の内容を発表し合い、参加者全員で共有しました。



発表の様子

意見交換であげられた主な意見

Ａ　班

○地区内、地区外の沢山の資源（社寺・緑など）をつなぐルートや順路ができると良い
○水路をもっと上手く活用したい
○普段使いや団体の来街者など、用途に応じたお休み処があると良い　など

Ｂ　班

○優先順位をつけながら取組む
○路地なども含めて、まち全体を歩いてほしい
○観光客(年配の方)が利用し易い公衆トイレが必要
○景観の視点では安易に車を排除しがちだが、アクセス等も含めて総合的に考えていきたい　など

Ｃ　班

○まずは身近なところから始められたら・・
○空き家や井田記念館など、活かしきれていない資源を活用していきたい
○大我井神社へ至る道をはじめ、裏道の雰囲気が良いので、観光客にも歩いてほしい
○今回話した事を少しずつ近隣にも伝えたい　など

【お問い合わせはこちらまで】
熊谷市都市整備部都市計画課　〒360-0195　埼玉県熊谷市中曽根 654 番地 1
TEL:0493-39-4813　E-mail:toshikeikaku@city.kumagaya.lg.jp

平成 25 年度の聖天山周辺地区景観形成事業は、埼玉県ふるさと創造資金の補助を受けて実施しています。